

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名： 弘前大学医学部附属病院

産科婦人科

研究責任者： 當麻 絢子

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 腹腔鏡下子宮筋腫核出術後妊娠の周産期転機と分娩管理の検討

研究の目的

近年、晩婚化や生殖補助医療の普及に伴い、腹腔鏡下筋腫核出術および腹腔鏡補助下筋腫核出術後の妊娠症例は増加しています。筋腫核出術後妊娠における子宮破裂の頻度は高くはないものの、手術後の経膣分娩が可能かどうかの基準について一定の見解が得られていません。

本研究では、当院手術を施行した症例を対象に、手術の内容と周産期転帰・分娩様式との関連を検討し、当院における筋腫核出後の経膣分娩の適応判断の妥当性を検証することを目的とします。

研究実施期間 実施許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日

対象となる方 2015 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日の期間、弘前大学医学部附属病院産科婦人科にて、子宮筋腫に対して腹腔鏡下子宮筋腫核出術・腹腔鏡補助下子宮筋腫核出術を施行後に同院で周産期管理を行った方

利用させていただきたい試料・情報について

当院の診療録に記録されている情報のうち、以下の情報を標記研究課題実施のために利用します。

- 1) 年齢、既往歴、妊娠分娩歴、合併症
- 2) 受診契機
- 3) 症状
- 4) 診察所見や検査データ
- 5) 手術に関する情報（腫瘍サイズ、腫瘍重量、手術時間、出血量、手術に使用した器具、術中合併症、術後合併症）
- 6) 術後経過（妊娠の有無や妊娠経過も含む）

これらの情報を元に、新たに導入した手術器具における治療成績の評価・検討を行います。

なお、利用に当たっては氏名・住所・電話番号・患者番号等個人を特定できる情報を削

除し、本研究のための固有の番号を付して行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。また、本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

外部への試料・情報の提供

ありません

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	弘前大学医学部附属病院産科婦人科・當麻 絢子 連絡先 TEL：0172-39-5107 / e-mail：a_taima@hirosaki-u.ac.jp
--------------	---